

ゆきしろみず



第45回東通村郷土芸能保存連合会発表会の様子



港内浚渫工事状況



イルミネーション点灯式のカウントダウン



炭坑操業当時の石炭運搬の様子

主な内容

- 特集 建設工事の状況をお知らせいたします2
- 東通原子力建設準備事務所が東通原子力建設所に組織変更2
- シリーズ第11弾 働く人がよく見える発電所3
コンクリート設備新設工事JV
- 特集 インタビュー「私、東通村出身です。いま頑張っています！」.....4
栄研商事株式会社 総務部長付 大澤 善幸さん
- 新春 特別企画『東通村歴史探訪』炭鉱あとを歩く6
- 第6回東京電力杯 ソフトバレーボール大会開催!7
- まさか!半島豆知識「ゆきしろみずミニミニクイズ」.....7
- 盛り上がった地域イベント参加報告.....8
ひとみの里イルミネーション ザ・^{ふゆげしぎ}冬華色
- 読者の声8

いつもの電気、もっと先へ。



Vol.24
冬号

2011.2.9

建設工事の状況をお知らせいたします

東通原子力発電所1号機は、1月25日着工しました。発電所の敷地内では、今後は建設工事として、これまで準備工事として実施してきた工事を継続的に実施するとともに、準備が整い次第本格的な工事を開始します。

陸上工事

現在、本館建屋周辺整備工事、機械装置基礎工事、水処理装置設置工事、ろ過水タンク設置工事、コンクリート製造設備新設工事を継続しています。

- 本館建屋周辺整備工事では、原子炉建屋やタービン建屋等の周辺を海拔10mの高さに整地するのにあわせ必要な壁の構築を行っています。
- 機械装置基礎工事では、発電した電気を送電するためのケーブルや配管を通す地下のダクト等の構築を行っています。
- 水処理装置設置工事では、ろ過水を製造するためのろ過装置等の据え付け工事を行っています。
- ろ過水タンク設置工事では、ろ過水を貯蔵するタンクの構築を行っています。
- コンクリート製造設備新設工事では、設備の建設を終了し、試運転を行っています。



機械装置基礎工事状況

港湾工事

現在、防波堤工事、物揚場工事、港内しゅんせつ工事、^{ものあげば}冷却水路屋外諸基礎工事を継続しています。

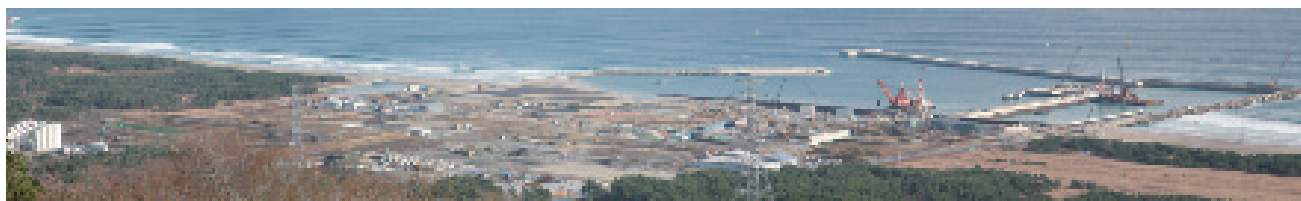
- 防波堤工事では、防波堤の上部構築物の構築等を行っています。
- 物揚場工事では大型の資機材等を荷揚げするための物揚場の構築を行っています。
- 港内しゅんせつ工事では、港内の海底の土砂を必要な深さまで取り除く工事を行っています。
- 冷却水路屋外諸基礎工事では、発電に使用した蒸気を冷やした冷却水(取水した海水)を放水する放水路のうち陸域の地下水路の構築などを行っており、放水路本体の構築は終了しました。
- 敷地と海との境界となる壁を構築する敷地護岸工事は終了しました。



港内浚渫工事状況



東防波堤工事状況



H22.12月の全景

東通原子力建設準備事務所が東通原子力建設所に組織変更

平成22年12月24日の東通原子力発電所1号機の原子炉設置許可を踏まえ、今後の本格的な工事に向け、技術管理や安全確保に関する責任体制の強化などを図るため、東通原子力建設準備事務所を廃止し、平成23年1月1日より、東通原子力建設所を設置しました。



東通原子力建設所所員



四方所長他による除幕式



コンクリート設備 新設工事JV

私たち、コンクリート設備新設工事JV【鹿島建設(株)、杉山建設工業(株)の2社で構成されている共同企業体】は、東通原子力発電所1号機の原子炉建屋などの建設に必要なコンクリートを、製造する設備の建設を行っています。

工事では、コンクリート製造設備2基のほか、コンクリートの材料を貯蔵するためのセメントサイロを4基、砂や砂利などを貯蔵する設備を8基など建設しました。このコンクリート製造設備の規模は、1日あたり約2,000㎡ものコンクリートを製造することが可能です。

私たち、コンクリート設備新設工事JVの最大の使命は、発電所の原子炉建屋などを建設するための規格に合ったコンクリートが正常に効率よく製造できる設備を建設することです。

工事は平成22年6月から開始して、平成22年12月に計画通り設備の建設を終了しました。

今回の設備の建設期間中は、安全を最優先に最後まで気を抜かない精神で、事故を起こさないことを第一義に、JV職員と現場作業員の一声掛けを行うなどコミュニケーションを図り、疑問や不明な点はすぐに相談・解決し双方が理解し合ってから工事を進めました。

現在は、試運転を行っています。竣工まで気を引き締めて安全作業を行ってまいります。



コンクリート設備新設工事JVのメンバー



コンクリート製造設備の全景

コンクリート設備新設工事JV

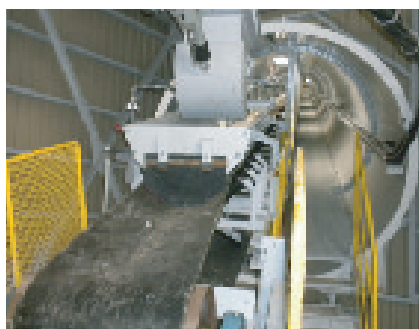
鹿島建設(株)、杉山建設工業(株)



コンクリート設備新設工事JV佐藤所長



私たちが建設しました



コンクリートの材料を運ぶベルトコンベアー



全職員参加の安全朝礼

「私、東通村出身です。
いま頑張っています!」

栄研商事株式会社 総務部長付 おお さわ 大澤 よし ゆき 善幸さん(55歳)

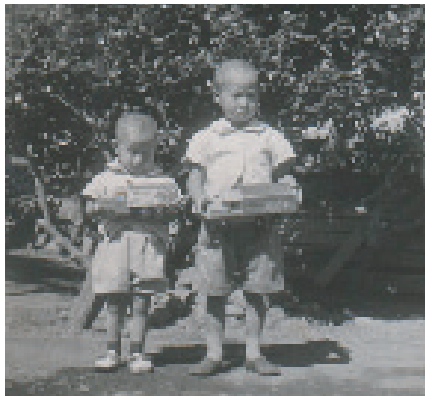
真面目な人柄を育む東通の豊かな自然。
「地道に頑張れば、
必ずいつか報われるのです」

日本一の書店街、東京神田神保町。オフィスビルの8階にある商社で働いているのが、東通村大和出身の大澤善幸さんです。

大澤さんは長年、みずほ銀行に勤務し、その真摯な仕事ぶりが評価され、昨年の夏から、現在の会社に勤務することになりました。今春からは総務部長として要職に就くことになっており、現在、資金繰りなど会社の重要な仕事を任されています。

昭和30年、元東通村教育委員長・大澤善四郎さんの長男として生まれた大澤さん。子どもの頃は体が弱かったそうですが、東通村の豊かな自然にいだかれ、大和小学で12人の同級生と、のびのび遊んで過ごしました。

「海が好きで、絵が好きで、ねぶたを作ったことも



5歳の頃の大澤さん(右)。弟の公男さんと実家の前で

ありました」と思い出を語ります。

中学生になると生徒会長としてみんなを引っ張り、学校生活を満喫しました。

田名部高校へは学年で2番目という好成绩で入学。



大和小学前、中学2年生の頃。会いに来てくれた小学校の担任の先生と一緒に撮影(右端に立っているのが大澤さん)



「でも勉強する時間はありませんでしたよ。家で牛を飼っていたので、堆肥を出したり、休みの日は牛の世話をしなければならなかったから」とにっこり。

高校入学当初は、生徒の多さに驚いたそうです。部活動は新聞部に入部し、2年生で部長となりその取材で原子力船おつにも乗船しました。

「田名部高校の新聞は結構立派でね。わざわざ弘前の印刷所をお願いしていました」

卒業後は、当時日本で一番大きな銀行・第一勧業銀行へ就職しました。「両親がまだ若かったので、実家から離れて外へ出て働いてみてもいいかなと思ったんです」と大澤さん。

銀行で最初に行ったのは「札勘と言ってお札を数えることでした」

その後、2つの支店で事務職を経験後、長野県の松本への転勤では初めて営業担当となり「人と人との繋がりの大切さを学びました。謙虚でお客さまを大切にすることは、仕事面だけでなく全ての面で助けられました」

関連のクレジットカード会社に出向したときは、カードを使ってもらえるよう夜の店回りも経験しました。

最も印象に残っているのは、第一勧業銀行に戻り、府中支店開設準備室で夜を徹して働いたこと。「新規の顧客開拓から事務処理まで7人のスタッフで何でもやりました。苦労した分だけ達成感もあり慰労会は楽しかった」と振り返ります。

結婚後、初の単身赴任では大阪へ。「大阪の人は基本的に東京の人をライバル視しますが、青森や北海道の出身者には愛着があり、親しみが沸くようなんです。東京の情報も話せる青森出身の私は、とても可愛がってもらいましたね」と、とても親しみが沸く顔で話します。

銀行の合併で、第一勧業銀行がみずほ銀行になると、今度はみずほグループ

会社の現金管理、集金、社内郵便、ATM管理業務等を行う、みずほデリバリーサービスを立ち上げるための準備委員会へ。1,400人の従業員を抱える、その企画管理本部次長を経て、昨年夏、現職へと就いたのです。

「銀行での思い出は、振り込め詐欺の犯人3名の逮捕や口座を凍結させたりいろいろあります。最初、東通村から東京に出た頃は、言葉が早口だと言われちゃいましたね。あの頃は自分に自信が持てなかったせいと、今なら思いますが…」と自己を分析。

「そう言えば、実家から送られて来たイカ寿司とか長芋等を、会社で配ると大変喜ばれました」と話します。

今も年に2度は東通村に戻るという大澤さん。「鱈のじゃっぱ汁とか、ツボ鍋とか、あんきもとか、



世田谷の喜多見支店の業務課長時代(中央)

ふるさとの味は最高です。実家では、正月になるとイタコさんと呼んで、その一年の注意する点とかを語ってもらっていたんですよ」

大澤さんにとってふるさと東通村は、生まれ育った大切なところ。「小さい村から東京へ出て頑張れたのは、12人の同級生、いわば東通の24の瞳で始まった、人と人の繋がり。東京に出れば、辛いことがあっても耐えるしか無いんです。でも東京って結局、地方から行った人の集まり。何があっても諦めないことが大切です。実家は茅葺き屋根で冬はほんとうに寒かったから、耐えることには慣れていたのかも知れません」と笑います。

「今でも思い出すのは、小学生のとき担任の先生に“偉い人にならなくていい、立派な人になりなさい”

と言われたこと。どこへ行っても、一生懸命頑張れば必ずいつか報われるんです。相手に生かしてもらおうことだっである。変に自分を作ろうとせずに、人間性を大事に日々過ごしていれば、信頼関係は自然に築くことができると思っています」

東通村の「なんにも無いところが大好き」と話す大澤さん。東通村の豊かな自然に育まれた、真面目で純朴で、まっすぐな姿勢が、みんなに慕われる、大澤さんのすべてを築き上げているのだと感じられました。



銀行の営業課長時代、当時の頭取とともに(右端が大澤さん)



『東通村歴史探訪』 炭鉱あとを歩く



東通村猿ヶ森のトヤ森付近に、昭和18年頃から25年頃まで炭鉱があったことをご存知でしょうか？当時炭鉱に勤めていた方にお話を伺うとともに、実際に現地を歩いて村の歴史にふれてみました。

東通村に実在した下北炭鉱

まほろし
幻の東通村の炭鉱について話してくれたのは、戦後その炭鉱に勤めていたという野牛地区在住の杉本辰夫さん(86歳)です。

杉本さんが勤めていたのは、戦争から復員してまもなくの昭和20年、22歳のことでした。「炭鉱は、4鉱区ほどあり、各鉱区ごとに親方と呼ばれる石炭を掘る優れた技術者がいました。炭鉱に勤務する人とその家族を合わせると、相当数の人がそこで暮らしていたようです。居住区には、電気屋さん、鍛冶屋さん、精米所などのほか、病院まであったんですよ」

東通村村史によると、昭和23年4月、東通村立下北炭鉱小学校が開校。学級数2、児童数47名、教員2名と記されています。

杉本さんは炭鉱で「主に倉庫番のような仕事を行い、食料、油、資材などの管理をしていました」と話します。



炭坑操作当時の石炭運搬の様子

掘った石炭は、索道(ロープウェイ)で田名部(現在の赤川駅)まで運んでいました。太いロープには、畳2畳ほどの大きさの運搬具がつられ、その中に掘った石炭を積み込んで田名部まで運搬。途中の蒲野沢には索道の中継所があり、秋田から来た技師が動かしていたそうです。

「炭鉱で働いていた技師はなぜか秋田の人が多かった気がします」と記憶を辿りながら、ゆっくりと話してくれました。

歴史を辿り炭鉱あとを歩く

後日、この話をもとに、今から20年ほど前、炭鉱跡地を訪れたことのある、尻労幼稚園長の坪正範先生と一緒に、現地を訪ねてみることにしました。

猿ヶ森～野牛をつなぐ道路から山側に入ると程なく薬師堂がありました。

薬師堂から奥へ入ると平坦な場所があり、炭鉱

で働く人々が住んでいた長屋があったようです。

更に少し歩くと、左右に区分するように石垣が積まれた火薬庫跡地がありました。

小高い平地には1戸立ての住宅があったことを証明する土台石が、直線上に並んでいます。「炭鉱会社の所長さんの住宅ではないか」と推測されます。

更に奥へ進むと、坑口と思われる場所へ辿

り着きました。入口は崩れていましたが、中を覗くと、明らかに人的に掘られたような穴があります。その地層には石炭ではないかと思われる、黒く光った地層がありました。

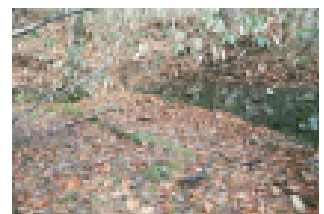
杉本さんは、「坑道は狭く、人が1人が2人入って掘削作業をしていた」と話していたので、大きな坑道ではないようです。

坑口付近には小川が流れ、坪先生は「この小川の流れの変化で、20年ほど前とはこの地形も相当違っている」と話します。

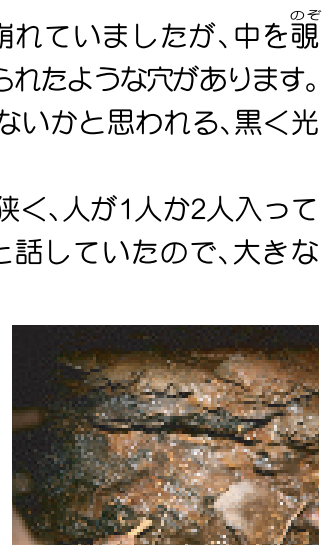
戦時中から戦後、エネルギー資源が採掘されたと推測される東通村。それは時を超えて受け継がれるかのように、今、村内には原子力発電所と風力発電所が建設されています。東通村が昔も今も、日本のエネルギーを支える村であることがわかった歴史探訪でした。



今も残る薬師堂



石垣で囲まれた火薬庫跡地



人的に掘られた形跡



現場から持ち帰った石炭の原石



坑口と推測される場所

第6回 東京電力杯ソフトバレーボール大会開催!

第6回 東京電力杯ソフトバレーボール大会を平成22年12月12日(日)東通村体育館において開催しました。

この大会は、日頃、地域の皆さまからのご理解とご協力に感謝するとともに、ソフトバレーボールを通して地域の皆さま相互の親睦と健康維持、また、体力の増進につながることを願って開催しているものです。

今大会には、村内各地域の女性から構成された12チーム、約60名もの方々が参加し、各試合とも熱戦が繰り広げられ白熱したゲームが行われました。



優勝した老部マリノズの皆さん



参加選手一同



選手宣誓は1番クジを引いたIZBチーム



白熱したゲーム展開



決勝にふさわしい熱戦

大会結果

- 優勝 ● **老部マリノズ** (老部)
- 準優勝 ● **尻労1号** (尻労)
- 3位 ● **MENA・みっちゃん** (目名)
- **安全最優先** (小田野沢)

参加チーム一覧

()は地区名

Aブロック

- I Z B (稲崎)
- 尻労2号 (尻労)
- V B C (大利・早掛平)

Cブロック

- 老部マリノズ (老部)
- 尻労1号 (尻労)
- エンジェルズ (小田野沢)

Bブロック

- MENA・みっちゃん (目名)
- 安全最優先 (小田野沢)
- でんこちゃん (小田野沢)

Dブロック

- V B C I (小田野沢)
- ミニモ (石持)
- 尻労3号 (尻労)

まさかり半島
豆知識

ゆきしろみず田田クイズ

東通村には「能舞」「神楽」「獅子舞」「田植え餅つき踊り」と伝統芸能があり、各集落などで大事に伝承されてきています。さて問題ですが、狂言・道化舞の一つである「おかめん」は1~3の何番でしょうか。

<ヒント>ぼっちゃりしたほっぺが特徴です。



応募方法

答えがわかった方は折込ハガキに解答をご記入のうえご応募ください。正解者の中から抽選でA賞『東通村産品詰め合わせ』またはB賞『東京銘菓詰め合わせ』をそれぞれ5名(合計10名)の方にプレゼントいたします。ご応募は、お1人さま1通を有効とさせていただきます。

●応募締切:平成23年3月31日(木)

当日消印有効

クイズの回答は、次号に掲載します。

秋号の答え



そばの花は**③**でした!

※応募総数81通のうち79名が正解でした!

個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。

12月6日(月)18時から東通村ひとみの里中央公園において『ひとみの里イルミネーション ザ・冬華色』の点灯式が開催されました。

この点灯式は、東通村の中心地である「ひとみの里」を活用して、東通村の中心地に賑わいを呼ぼう!と年間を通して精力的に活動しているWeek Around Hプロジェクトチームが主催したものです。

イベント当日は、点灯式カウントダウンとともに来場者にはホットミルクとシフォンケーキがプレゼントされ、厳寒の中にも鮮やかなイルミネーションと、温かいミルクで参加者の心も暖まっていました。



イルミネーション点灯式のカウントダウン



Week Around Hが装飾したイルミネーション



来場者にプレゼントされたホットミルクとシフォンケーキ



VOL23秋号にお寄せいただきました読者の皆さまからのご感想やご意見をご紹介します。

〔東通村 Mさん〕

東通村から出た人の中にも、いろんな仕事している人がいるんだな〜と知ることができました。これからも、どんどんいろんなものを載せていってほしいと思います。

〔編集室より〕

「私、東通村出身です。いま頑張っています」は今回で4人目の方の紹介となりました。「元同級生」や「ご近所の方が掲載された」など多くのご意見をいただいています。東通村から遠く離れた所で活躍している方々を紹介し、みんなに知っていただきたいと思います。

〔東通村 Hさん〕

東通村のイベントに、東京電力の人も参加しているんだな〜と感心しました。これからも、どんどん東通村のイベントに参加して東通を盛りあげてください。

〔編集室より〕

私もできるだけ、東通村のイベント・各種行事に参加し楽しんでいます。こういったイベントなど行事を通じて、村民の方々と知り合うことが出来ることも楽しみです。

〔六ヶ所村 Sさん〕

泊に住んでいても東通村の事はあまり知らないできています。ゆきしろみずを見るのを楽しみにしています。いろいろなイベント・工事状況などこれからも楽しみにまっています。

〔編集室より〕

これからも、発電所の工事状況、原子力に関する事など、分かりやすく読んでいただけるような広報誌作りを目指していきたいと思っています。

〔東北町 Dさん〕

先日トントウビレッジに行ってみました。電気の事でいろいろ勉強になりました。電気は私達が生活していく中での必需品なので大事に使わないといけないと心にしました。これからもよろしく。

〔編集室より〕

トントウビレッジへのご来館ありがとうございます。トントウビレッジでは電気や原子力に関する内容および、発電所の工事状況などを紹介しています。また、楽しいイベントも実施していますので、多くの方のご来館をお待ちしています。

お問い合わせ

東京電力株式会社
東通原子力建設所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303
TEL 0175-45-7052・FAX 0175-48-2019
(月～金・平日午前9時～午後5時)

ホームページアドレス

<http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>

「ゆきしろみず」のバックナンバーは上記ホームページで全号見ることができます。

編集後記

本年も、「ゆきしろみず」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

昨年12月24日、国から原子炉設置許可を受領し、本年1月25日には、工事計画認可(第1回)をいただいたことから、東通原子力発電所1号機が着工いたしました。

今後とも「ゆきしろみず」の中で、発電所の建設状況やイベントの情報などをお知らせしていきますので、変わらぬご愛読を宜しくお願いいたします。

担当者 S

